

## Lesson 18 「名詞⑦」

ねらい

職業を表す語のつづりと発音を理解させる。

代名詞の主格he, she, we, they, youの意味と使い方を理解させる。

※単語編Book①Lesson 13のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L17 ① (041) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンプリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストを見ないで音声に集中させましょう。</li> <li>・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。</li> <li>・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。</li> <li>・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。</li> </ul>
20分	L18 ①④ (045) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンプリング) → 発音練習の順に行います。 <b>宿題</b> (③の単語を書いてくること) を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L18 ①② (046) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。</li> <li>・発音練習は一斉→グループ→個人 (順番) とパターンを変えて複数回行いましょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「actor」 生徒「俳優」)</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「[ダンサー [歯医者] のカードを示して] Dancer?」 生徒「Yes. Dancer.[No. Dentist.]」)</li> </ul>
15分	L18 ②の1 (She is a pianist.) ～ 3 (He is a cool actor.) について、最初に先生が発音し、次に生徒が発音させます。 <b>代名詞 he, she, we, they, you 「あなたたち」は初出なので、意味をしっかりと説明し、〈He[She] is a + 名詞【単数形】...〉という形と〈We[They / You] are + 名詞【複数形】...〉という形を確認させます。</b> 各生徒に、①①と②から単語を選ばせて、〈She か He + is + a + 名詞【単数形】〉か〈We か They か You + are dancers.【複数形】〉の形で発音させ、意味を確認させます。 <b>dancers も初出なので、s の発音 [z] に注意させます。</b> American は an American ～とするよう注意させます。 <b>反応が鈍い場合や時間が足りない場合は</b> 、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1の pianist を dancer にかえて「She is a dancer.」と言い、生徒に「She is a dancer.」を繰り返させます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。</li> <li>・1～3の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。</li> <li>・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、②③の〈He[She] is a[an] + 形容詞 + 名詞.〉の形でも発音させ、意味を確認させましょう。a [an] の脱落等の誤りは、正しい形に修正して発音練習をさせましょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、先生が生徒の名前を言い、男子の場合は He is a student. と女子の場合は She is a student. と生徒に言わせて、he と she の使い分けを練習させてもよいでしょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、有名人の写真を用意して、先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させてもよいでしょう。(例 先生「[男性の [女性の] サッカー選手の写真を見せて] He[She] is a pilot.」 生徒「No. He[She] is a soccer player.」)</li> </ul>
5分 (まとめ)	㉔ (クイズ) に取り組みせ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 <b>players も初出なので、s の発音 [z] を説明します。</b> <b>宿題</b> (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること) を出します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>反応が鈍い場合や時間が足りない場合は</b>、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。</li> <li>・正解の発音練習は一斉で行いましょう。</li> <li>・㉔ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。</li> </ul>

Lesson 19 「名詞⑧」

ねらい

家族や親せき（間柄）を表す語のつづりと発音を理解させる。  
代名詞の所有格his, her, their, my, your, ourの意味と使い方を理解させる。

※単語編Book①Lesson 14のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L18 ①④ (045) と ⑤ (046) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ（またはサイレントシャドーイングかマンブリング）→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認（③の単語を書いたか音声を聞いた曜日に○がついているか）をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストを見ないで音声に集中させましょう。</li> <li>・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。</li> <li>・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。</li> <li>・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。</li> </ul>
20分	L19 ①④ (047) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ（またはサイレントシャドーイングかマンブリング）→発音練習の順に行います。 <b>宿題</b> （③の単語を書いてくること）を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L19 ①⑤ (048) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 <b>代名詞の所有格 his, her, their, our は初出なので、しっかり意味を説明します。</b> their は、理解が難しいようであれば、「彼らの」という意味だけの説明にとどめます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。</li> <li>・発音練習は一斉→グループ→個人（順番）とパターンを変えて複数回行いましょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「aunt」生徒「おば」)</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「[おば [おじ] のカードを示して] Aunt?」生徒「Yes. Aunt. [No. Uncle.]」)</li> </ul>
15分	L19 ②の1 (my brother) ～6 (know her father) について、最初に先生が発音し、次に生徒が発音させます。 <b>名前に's (アポストロフィ・エス) がついた形は初出なので、「○○の」という意味になることを説明します。</b> 各生徒に、①④と⑤から青色の枠の語【代名詞】と水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈his か her か their か my か your か our + 名詞〉か〈Ken's + 名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 <b>反応が鈍い場合や時間が足りない場合は</b> 、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が4の aunt を father にかえて「his father」と言い、生徒に「his father」を繰り返させます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。</li> <li>・1～6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。</li> <li>・各生徒に代名詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、Ken's を Sam's や Amy's 等に変えて発音させてもよいでしょう。</li> </ul>
5分 (まとめ)	㉔ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 <b>宿題</b> （①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること）を出します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>反応が鈍い場合や時間が足りない場合は</b>、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。</li> <li>・正解の発音練習は一斉で行いましょう。</li> <li>・㉔ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。</li> </ul>

## Lesson 20 「前置詞」

ねらい

場所を表す語（前置詞）のつづりと発音を理解させる。  
前置詞の使い方を理解させる。

※単語編Book①Lesson 15のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L19 ①④ (047) と ⑤ (048) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ（またはサイレントシャドーイングかマンブリング）→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認（③の単語を書いたかとお声を聞いた曜日に○がついているか）をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストを見ないで音声に集中させましょう。</li> <li>・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。</li> <li>・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。</li> <li>・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。</li> </ul>
20分	L20 ①④ (049) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ（またはサイレントシャドーイングかマンブリング）→発音練習の順に行います。 <b>宿題</b> （③の単語を書いてくること）を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L20 ①⑤ (050) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。</li> <li>・発音練習は一斉→グループ→個人（順番）とパターンを変えて複数回行いましょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「around」 生徒「～のまわり」)</li> </ul>
15分	L20 ②の1 (on the table) ～6 (live in Tokyo) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 各生徒に、①④から水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈on か by か near + 名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 <b>定冠詞 the は初出なので、発音に注意させます。※1</b> <b>定冠詞の説明は、「『その』という意味ですが、訳さないことが多いです」という程度にとどめます。</b> <b>反応が鈍い場合や時間が足りない場合は</b> 、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。 たとえば、先生が1の table を chair にかえて「on the chair」と言い、生徒に「on the chair」を繰り返させます。 ・ <b>余裕があれば</b> 、次のフレーズの意味を確認させ、一斉で発音練習をさせます。※2 on the desk      in the box      by the window on the table      in the desk      by the door on the wall      in the park      by the desk	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。</li> <li>・1～6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。</li> <li>・各生徒に名詞を1つずつ選ばせて発音〔発表〕させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。</li> <li>・on the hospital「病院の上」のような不適切な組合せが発表されても、「おもしろいね!」と言うにとどめ、否定〔修正〕しないようにしましょう。</li> </ul>
5分 (まとめ)	㉞ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 <b>宿題</b> （①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること）を出します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>反応が鈍い場合や時間が足りない場合は</b>、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。</li> <li>・正解の発音練習は一斉で行いましょう。</li> <li>・㉞ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。</li> </ul>

※1 the の発音指導は、最初は外から見えて理解しやすいように、舌を上下の歯ではさんで声を出させるようにします。

余裕があれば、「テーブル」と言えば「(テーブルは1つしかないから等の理由で) そのテーブルのことだな」とわかる状況のときに the を使いますと詳しく説明してもよいでしょう。

※2 in the desk は「机の(引き出しの)中」、on the wall は「かべに(くっついて)」という意味であることを説明しましょう。

## Lesson 21 「あなたはどこで勉強しますか」

ねらい

場所についてたずねたり答えたりできるようにする。

※会話編Book①Lesson 15のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L20 ① (049) と ② (050) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③の単語を書いたか音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストを見ないで音声に集中させましょう。</li> <li>・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。</li> <li>・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。</li> <li>・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。</li> </ul>
10分	L21 ① (051) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。</li> <li>・発音練習は一斉 (1文ずつ→1発言 [セリフ] ずつ) → グループ (半分アン役, 半分めぐみ役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。</li> </ul>
15分	L21 ② (052) と ③ (053) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し (②でめぐみのセリフ, ③でアンのセリフを言う), 次に生徒に行わせます (一斉)。何度か繰り返して暗記できたら、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 <b>on Saturdays 「土曜日に」、usually 「たいてい」、study 「勉強する」は初出なので、しっかり意味を説明します。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。</li> <li>・ペアワークでは、Megumi のところを相手の名前に変えさせましょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>, ペアワークを発表させましょう。</li> </ul>
10分	L20 ④ (054) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 ①と②について、発音練習をさせます。その後、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。</li> <li>・次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。</li> <li>・①と②の発音練習は一斉 (1文→対話) → グループ (半分アン役, 半分めぐみ役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。</li> <li>・<b>余裕があれば</b>, ペアワークを発表させましょう。</li> </ul>
5分 (まとめ)	㉔ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させて、意味を確認させます。 <b>宿題 ①～④</b> の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>反応が鈍い場合や時間が足りない場合は</b>, L21 ②に Then what do you do on Saturdays? と Where do you study English? が, L13 ② (p.30) に Oh, do you like dogs, Amy? があることを教えて、正解を見つけさせましょう。</li> <li>・㉔ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。</li> </ul>